



小学生バドミントン通信

NO.18 2018.07

発行：日本小学生バドミントン連盟 会長 黒川 茂

ダブル優勝(男女同時)めざして・・・。

岡垣ジュニア監督(男子の部) 池田 明 男

「バドミントンの小学生の甲子園」若葉カップを愛してやまない指導者です。33年間開催の長岡京市の関係者の皆様には感謝しかありません。夏蝉の声を聴きながら西山公園体育館の横断歩道を警備の叔父さんに挨拶して坂道を上るときに私の胸が熱くなります。そして壮大な入場行進は毎年、感動して感涙に浸ります。

男子はリーグ戦の1回戦が始まりますので戦いモードに気持ちを切り替える事を選手達に伝えて、池の横の神様に優勝祈願してトレーニングに入りました。昨年は準決勝で長岡京スポ少に負けて3位で優勝できませんでしたので今年は優勝を狙っていましたが、リーグ戦でエース中川選手を擁する鶴ヶ島と当たり、強敵に4-1と勝ってチームが盛り上がりました。準決勝では5・6年ダブルスが強い大野ジュニアと当たりました。5年ダブルスにエース斉藤を投入して取りに行きましたがダブルスは2つ共に取られシングル陣が頑張り3-2でやっと勝てました。準決勝で苦戦をしましたので決勝では選手達が150パーセントの力を出し切って3-0で完勝して、昨年の雪辱を果たしました。圧巻だったのは4年シングルスで川野が強くて上手な木根選手に21-17 22-20 2-0で拾いまくって勝った試合は感動して涙が出ました。優勝する時は、すべてが上手くいきます。

男子は2回優勝しましたが、女子は2位1回・3位4回で優勝はありません。昨年32回大会ではリーグ戦で

優勝したミッキーズに当たり2-3で惜敗しました。予想通り6年生が弱くて6Dが競り負けて姿を消しました。今年、33回大会は6年生が強くて、しかし4年がいなくて3年を出しました。ダブル優勝を狙っていましたが、準々決勝で最大の敵・鶴ヶ島ジュニアと対戦6Sでエースの山北選手を須藤が2-0で勝ち好スタートを切りました。予想通り4Sの勝負に成りましたが1ゲームは取りましたが体力切れて敗退し5位。今年もダブル優勝は出来ませんでした。34回大会で夢のダブル優勝めざしてスタートします。

岡垣ジュニアを支えてくれるコーチ・保護者等のチームワークが良いので毎年、若葉カップに参加しています。感謝・感謝。若葉カップは監督・コーチ・選手・保護者が色々な経験・勉強する最高の場です。来年、34回大会、どの様なドラマがあるか・・・楽しみにしています。

永遠の夢追い人より・・・





平成29年度の大会記録



第33回若葉カップ全国小学生バドミントン大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟・長岡京市)

平成29年7月28日～31日／京都府長岡京市・西山公園体育館

【男子の部】

- 優勝 岡垣ジュニア (福岡県)・・・2回目
- 2位 長岡京市スポ少 (京都府)
- 3位 大野ジュニア (福井県)
- Dream.Jr (福井県)

【女子の部】

- 優勝 鶴ヶ島Angels (埼玉県)・・・初優勝
- 2位 小平ジュニア (東京都)
- 3位 宇都宮中央Jr. (栃木県)
- 瓜破西SSC (大阪府)

選手の成長

鶴ヶ島Angels監督 佐野浩二

嬉しい！ 気持を押さえたが、気が付くと声を嗄らし二階席から選手たちに「おめでとう」と叫んでいた。

鶴ヶ島バドミントン連盟では、地域のバドミントンが活性化してくれることを期待して、小学生を対象に鶴ヶ島Angelsを13年前に誕生させた。何時しか子供たちの強くなりたい気持ちが、チームの目標を全国大会出場に進化させて行った。チーム練習は土日のみ。平日は保護者による自主練習が創部からのスタイル。チームのシンボルである緑の団幕はチーム方針である「心・技・体」。練習内容は試合で使えることを意識して構成している。P計画⇒D実行⇒C結果確認⇒A修正実行のサイクルを試合だけでなく練習にも実践している。

チームとして昨年初めて男子が出場し、今年は念願の男女揃っての出場となった。男子は昨年も今年も優勝チームと対戦し、その強さに圧倒され敗退する。オーダー作りを含め練習内容を見直す良い機会を頂いた。女子の決勝トーナメント当日、女子チーム監督が会社の都合で急遽帰宅してしまう。慌てて当日のオーダーをスタッフ全員の情報力で作成し2階の応援席から1階のコーチ席に手渡することとなった。今年のチームは6年シングルスを中心に構成する予定であったが、この6年シングルス選手は怪我の影響で10日前まで練習が出来ない状態で試合に臨んだ。それでもチームの柱として予選から頑張って何とか勝ち進めてきたが、準々決勝戦では強豪・岡垣ジュニアに6年シングルスが敗戦してしまう。4年シングルスも1ゲーム目は半分の得点しか取れずコートチェンジ。今年は男女とも強豪・岡垣ジュニアに敗退かと頭を過ったが、ここから選手たちの一致団

結する気持が表れた。いつも頼り切っていたエースが敗戦したことにより、他の選手が奮起する。4年シングルス逆転、5年ダブルスと5年シングルス勝利し6年ダブルスも最後まで諦めない試合展開で今大会唯一の勝利パターン。決勝ではチームメイトに助けられたエースが立ち直り勝利すると、ほとんどペア練習していない急造5年ダブルスが逆転勝利を掴む。そして顔が最後まで強張っていた5年シングルスが勝負を決めてくれた。結果を見ても決して安易な試合は一つもなく、最後まで優勝を諦めなかった選手達が初出場の経験不足と緊張を振り切ったの勝利となった。選手の成長速度は一定ではなく、気持ちが本気になった時に一気に加速することを教えられた。ありがとう。

大会終了後、体育館の入り口に歴代の優勝チーム名が刻まれたプレートを見た。ここに鶴ヶ島Angelsの名前が刻まれると考えるだけで、周りの風景が変わって見えて来た。あの肌に纏わりつく熱気も、ガシャガシャのクマゼミの聲も何故が心地良く思えてくるから不思議だ。来年もこの場所に来られる事を目標に、新しいチーム作りを保護者、スタッフ全員の協力で進めていこう。

末筆になりますが、大会運営関係者の皆様へ感謝致します。ありがとうございます。



第18回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟)

平成29年8月14日～16日／北海道札幌市 北海道立総合体育センター

【男子Aクラス(5・6年生)】

- 優勝 沖本 優大 (広島県)
- 2位 中川 友那 (埼玉県)
- 3位 江田 和博 (大阪府)
- 佐藤 瑠活 (宮城県)

【女子Aクラス(5・6年生)】

- 優勝 石岡 空来 (北北海道)
- 2位 山北 奈緒 (埼玉県)
- 3位 岩戸 和音 (北北海道)
- 遠藤 美羽 (栃木県)

【男子Bクラス(3・4年生)】

- 優勝 澤田 修志 (北北海道)
- 2位 草ノ瀬悠生 (鹿児島県)
- 3位 三木 颯斗 (茨城県)
- 石井 叶夢 (埼玉県)

【女子Bクラス(3・4年生)】

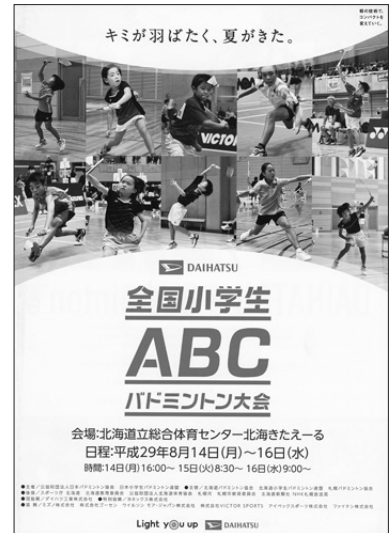
- 優勝 平田 涼 (茨城県)
- 2位 山本 優愛 (愛知県)
- 3位 山口 葉菜 (石川県)
- 神尾 朱理 (東京都)

【男子Cクラス(1・2年生)】

- 優勝 宮原 圭純 (福岡県)
- 2位 萩原 駿希 (埼玉県)
- 3位 芦田 潤平 (新潟県)
- 松本 真優 (栃木県)

【女子Cクラス(1・2年生)】

- 優勝 奥田 紗世 (北北海道)
- 2位 原口 倅歩 (鹿児島県)
- 3位 長谷川翼咲 (静岡県)
- 松戸 海 (埼玉県)



第26回全国小学生バドミントン選手権大会

(主催：日本協会・日本小学生連盟)

平成29年12月22日～26日／広島県広島市 広島県立総合体育館

【都道府県対抗団体戦：男子の部】

- 優勝 神奈川県 井上 大馳・渡邊 至・田中 一基 (初優勝) 松川 健大・三浦 大地・高橋 和希
- 2位 栃木県
- 3位 福岡県・富山県
- 5位 東京都・鳥取県・大阪府・滋賀県

【都道府県対抗団体戦：女子の部】

- 優勝 埼玉県 山北 奈緒・吾妻 佳奈・黒川 璃子 (2回目) 櫻井 優香・湯本 凜音・高津 愛花
- 2位 千葉県
- 3位 栃木県・神奈川県
- 5位 北海道・大阪府・東京都・青森県



【6年生男子シングルス】

- 優勝 沖本 優大 (広島県・原ジュニア)
- 2位 中川 友那 (埼玉県・鶴ヶ島Angels)
- 3位 谷岡 大后 (高知県・たまひよじゅにあ)
- 佐藤 瑠活 (宮城県・仙台大和ジュニア)

【5年生男子ダブルス】

- 優勝 坂本安樹・櫻井慎大 (栃木県・宇都宮JB)
- 2位 勝又翔哉・勝又悠翔 (静岡県・富士山クラブ)
- 3位 猪俣佑仁・高坂悠陽 (青森県・浪岡ジュニア)
- 石原克起・森山大夢 (広島県・あかねジュニア)

【4年生以下女子シングルス】

- 優勝 山本 優愛 (愛知県・みかクラブ)
- 2位 東谷 悠妃 (北北海道・忠和クラブ)
- 3位 伊藤 康乃 (埼玉県・鶴ヶ島Angels)
- 山口 葉菜 (石川県・大徳ジュニア)

【5年生男子シングルス】

- 優勝 齊藤 礼 (福岡県・岡垣ジュニア)
- 2位 松川 健大 (神奈川県・青葉ジュニア)
- 3位 津川 祐太 (北海道・札幌BEANS)
- 高木慎二郎 (岐阜県・垂井JSC)

【4年生以下男子ダブルス】

- 優勝 佐藤策太・司削綾登 (東京都・宝塚ジュニア)
- 2位 祇園田隼人・中原秀駿 (熊本県・北部ジュニア)
- 3位 寺西怜生・森下虎愛 (愛知県・T-Jump Jr.)
- 岡部 翔・根本舜生 (神奈川県・綾瀬ジュニア)

【6年生女子ダブルス】

- 優勝 藤井史穂・吉岡葉菜 (大阪府・D☆ARMY)
- 2位 宮城空青・日野原凜 (埼玉県・三郷ダックス)
- 3位 櫻井優香・湯本凜音 (埼玉県・志木ジュニア)
- 橋村羽奏・竹内遙香 (東京都・小平ジュニア)

【4年生以下男子シングルス】

- 優勝 澤田 修志 (北北海道・帯広ジュニア)
- 2位 長束 翔太 (愛知県・大里東スポ少)
- 3位 木根 知哉 (京都府・長岡京市スポ少)
- 高野 日向 (熊本県・出水南ジュニア)

【6年生女子シングルス】

- 優勝 岩戸 和音 (北北海道・愛宕東少年団)
- 2位 山北 奈緒 (埼玉県・鶴ヶ島Angels)
- 3位 山家くるみ (北海道・北海道ハitekACA)
- 須藤 海妃 (福岡県・岡垣ジュニア)

【5年生女子ダブルス】

- 優勝 鈴木あいり・中野真里 (千葉県・鎌ヶ谷ジュニア)
- 2位 青木優羽・平田 涼 (茨城県・桜川Jr)
- 3位 上山怜来・末永萌々歌 (北北海道・帯広ジュニア)
- 吉田明永・保谷芽依 (千葉県・市原ジュニア)

【6年生男子ダブルス】

- 優勝 関根翔太・金本光巧 (東京都・青梅ジュニア)
- 2位 石本藍利・鍛冶駿樹 (石川県・美川湊ジュニア)
- 3位 野口駿平・柳川瑠生 (東京都・たなしMAX Jr)
- 古株大智・清水瑠斗 (埼玉県・志木ジュニア)

【5年生女子シングルス】

- 優勝 樋口 吹羽 (徳島県・藍住エンジェル)
- 2位 玉木 亜弥 (東京都・たなしMAX Jr.)
- 3位 秋田 まな (岡山県・永井BC)
- 平本梨々菜 (岐阜県・池田少年団)

【4年生以下女子ダブルス】

- 優勝 伊藤菜央加・岡本 芽 (愛知県・師勝ジュニア)
- 2位 堀田菜々花・永洲友梨華 (佐賀県・川上ジュニア)
- 3位 石井 空・戸上 凜 (岡山県・PEACEジュニア)
- 宮崎 凜・勸傳歩美 (石川県・オルエージュ)



全国小学生バドミントン選手権

6年男子シングルス優勝

広島県 原ジュニア 沖本優大



ぼくは、今大会で3連覇がかかった小学校最後の「全国小学生バドミントン選手権大会」で優勝することができ、とてもうれしかったです。2年生の時の全国ABC大会から、今回の全

小まですべて優勝することができました。特に、全小では1ゲームも落とすことなく、すべてストレート勝ちすることができました。今回の全小では、地元広島県開催ということで、地域の方々、学校の先生、友達、親戚、家族などたくさんの人たちが応援してくれました。試合中でも大きな声援が聞こえ、頑張ろうという気持ちになりました。応援を力に変えることができ、優勝できたことでほっとしています。

ぼくが初めて全国大会に出場したのは熊本県で開催された全国ABC大会のCグループです。ブラスバンドの演奏で始まった開会式、たくさんの観客や初めて見るグリーンマット、会社の看板など独特の雰囲気に圧倒されて緊張しましたが、試合を楽しもうと望み、その結果優勝でき、正直びっくりしました。しかし、次のBグループで優勝しないとCグループでの優勝はまぐれだと言われ、悔しかったので一生懸命練習し、Bグループの大会に臨みました。その結果再び優勝することができ、まぐれではないことが自覚でき、大きな自信につながりました。

全小は3年生の時に初出場しましたが、全国大会に出場することが目標となってしまう、全国大会では力が出せず、結果が残せませんでした。翌年開催された全小では、優勝を目標に練習を重ねて再び4年生以下のグループに出場し、初優勝することができました。ここから3連覇につながりました。

小学校のバドミントン生活を振り返り、小学校2年生で初優勝し、周りから優勝し続けることを期待されて大きなプレッシャーでしたが、原ジュニアの監督、コーチのご指導やチームメイト、家族の支えもあって乗り越えることができました。これからも周りの方々に感謝の気持ちを持ってバドミントンを楽しみ続けていきたいと思っています。

6年女子シングルス優勝

北北海道 愛宕東少年団 岩戸和音



私は、今年全小で2連覇を果たすことができとても嬉しいです。

私がバドミントンを始めたきっかけは幼稚園の年中の時に兄の少年団に付いて羽根を打っているうちにバドミントンの魅力に気付

き、1年生から本格的に始めました。

私は、3年生までは全国という舞台に絶対に立てないと思っていました。でも、4年生の時に転校して今の監督や少年団のみんなに出会って私の練習に対する意識が変わり、全国制覇を目指して練習に取り組むようになりました。

そして、4年生のABC大会で初めて全国に行くことができました。でも、結果は2回戦負け。私はそれが悔しくてこれまで以上に努力しました。その年の全小はABCと同じ結果だったけどABCの時よりは相手に食いついていけました。

そして、5年生の全小。私は自信が無かったけど何故か思い切って試合することができました。北海道の仲間の応援が私の背中を押してくれて頑張ることができ、目標だった全国制覇を達成することができました。その日から私は追う立場から追われる立場になったことでプレッシャーに感じ、大会で自分の実力を出せないまま終わることが多くなってしまいました。その中でも一番6年生のABC大会。準決勝でエンドアウトばかりで負けてしまいました。自分の実力を出せずに負けたことが一番悔しかったです。

それからの私は全小に向け必死に練習しました。しかし、全小の大会が近づくにつれ100%で戦えるか不安になりました。その時、監督が私に『勝っても負けても全力を出せばそれで良いよ。』と言ってくれました。私はその言葉ですぐ楽になりました。そして、全小当日。少し不安がありながらもしっかりラリーをして優勝することができました。みんなの期待に応えられて嬉しかったです。これからも初心を忘れずに一生懸命努力を継続させていきたいです。



2017年日本小学生バドミントン連盟 強化部の事業報告

平成29年度「中国広州恵州市国際青少年バドミントン倶楽部大会」

期 日 平成30年2月3日(土)～9日(金)
場 所 中国・恵州市
監 督 中口 直人(愛知県・日本小学生バドミントン連盟強化部長)
コ ー チ 永井 大吉(岡山県・日本小学生バドミントン連盟強化部員)
選 手 沖本優大(広島県)・中川友那(埼玉県)・谷岡大后(高知県)・佐藤瑠活(宮城県)・関根翔太(東京都)
金本光巧(東京都)・山家くるみ(北海道)・山北奈緒(埼玉県)・須藤海妃(福岡県)・今泉明日香(佐賀県)
藤井史穂(大阪府)・吉岡葉菜(大阪府)

まずはじめに中国の気候は日本より少し暖かく感じられました。体育館の中でも寒いと感じることなくアップに試合をすることができた。

今回の大会は、U-13、U-15ともに30点1ゲームで行われ、慣れない点数にとまどったこと、シャトルの番手が2番を使用であったため、日本小学生選手団は羽根が全く飛ばないということ、ショットが決まらないなど、大会初日はとまどっていた。

大会が進むにつれ、だんだんとラリーをして攻めすぎないように丁寧な球回しをするようになった。U-15で参加している選手は相手が年齢的に上ということもあってか、とくにダブルスでは、攻撃力、レシーブ力の差を痛感させられた。即席ダブルスであった点も含め、対応できず何もできずに敗退が多かった。ダブルスができる日本選手がいなかった。

シングルのほうでは、日本選手は持ち前のラリーで試合を展開し、勝負はできていた。しかし、マッチポイントをとった場面からの逆転負けが4試合ほどあったのがもったいなかった。競った場面での無理に決めに行く、一か八かのショットが目立った。

U-13の選手は、年齢がこちらのほうが上なのもあってか、準決勝まではなんなく勝てた。しかし、その余裕もあってか準決勝あたりから、試合の入り方もよくなく、集中力が欠けていて自分からのミスが重なり気づいたらもう追いつけない点数になって敗退をしていた。海外のU-13の選手はきっちりとレシーブしてつないでラリーをして無理をする選手が少ないと感じた。

この他生活面では、食事がやはり食べていなかった。初日はほとんど手をつけられず残す選手が多かった。日が進むにつれ味になれたのかだんだんと食べれるようになってきた。

日本が食事面では恵まれていることが選手達にもよくわかったと思う。



総評としまして、日本選手もU-13のころからもっと海外にでて他の選手と対戦をし自分たちと同年代の選手とのレベルの距離感を知り、経験をつませることが大事だと感じた。

今の小学生は日本で勝つことを意識してやっている日本で勝ち、世界で勝負しないといけないという意識をもたせる環境を我々指導者が作っていかないと駄目だと感じました。



最終成績

U-13男子単

谷岡 大后 3位
中川 友那 5位

U-15男子単

沖本 優大 5位
佐藤 瑠活 予選敗退

関根 翔太 決勝T1回戦敗退
金本 光巧 予選敗退

U-15男子複

沖本、中川組 5位
関根、金本組 予選敗退

谷岡、佐藤組 予選敗退

U-13女子単

藤井 史穂 3位

U-15女子単

山家くるみ 5位
山北 奈緒 予選敗退
吉岡 葉菜 予選敗退

須藤 海妃 決勝T1回戦敗退
今泉明日香 予選敗退

U-15女子複

山北、山家組 5位
今泉、藤井組 予選敗退

須藤、吉岡組 予選敗退





平成29年度の専門部事業

■ 選手強化部

1) 平成29年度日本小学生バドミントン連盟 強化合宿・海外遠征

- ① 平成29年度第5回U-13選抜強化合宿
…………… 7月31日～8月3日／京都府長岡京市 西山公園体育館
- ② 第16回日小連強化合宿…………… 8月16日～19日／北海道札幌市 北海道立総合体育センター

2) 平成29年度日本小学生バドミントン連盟ブロック普及事業(補助金交付)

3) 平成29年度日本協会 選手強化本部事業

- ① 2017年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 …………… 4月25日～28日／NTC
- ② 2017年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 …………… 6月12日～18日／NTC
- ③ 2017年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 強化合宿 …………… 11月12日～18日／NTC
- ④ 2017年ジュニアナショナルU-13強化指定選手 選考合宿 …………… 1月31日～2月3日／NTC
- ⑤ 中国広州惠州市国際青少年バドミントン大会 …………… 2月3日～9日／中国・惠州市

■ 指導育成部

1) 指導者講習会《巡回指導》の開催(ヨネックス協賛事業)

- ① 5月20日 千葉県小学生バドミントン連盟(千葉市市川市国府台体育館)
- ② 7月16日 山形県小学生バドミントン連盟(長井市置賜生涯学習プラザ)
- ③ 9月30日 佐賀県バドミントン協会小学生部会(武雄白岩体育館)
- ④ 11月4日 富山県小学生バドミントン連盟(新湊アイシン軽金属スポーツセンター)
- ⑤ 11月5日 広島県小学生バドミントン連盟(廿日市大野体育館)
- ⑥ 11月11日 高知県小学生バドミントン連盟(高知市東部体育センター)
- ⑦ 11月12日 香川県小学生バドミントン連盟(高松市仏生山公園体育館)
- ⑧ 11月26日 鹿児島県バドミントン協会小学校部会(桜島総合体育館)
- ⑨ 1月7日 岐阜県小学生バドミントン連盟(笠松町総合体育館)
- ⑩ 1月14日 青森県小学生バドミントン連盟(スポーツプラザ藤崎)
- ⑪ 1月28日 山梨県小学生バドミントン連盟(甲府市立甲府商業高校体育館)
- ⑫ 2月3・4日 熊本県バドミントン協会小学生部会(八代市東陽スポーツセンター)
- ⑬ 2月25日 茨城県小学生バドミントン連盟(下館総合体育館)

■ 医科学研究部

1) スポーツ医科学講義の実施

指導育成部の実施する指導者講習会(巡回指導)とタイアップした形で平成29年度は5回の講義を実施した。

- ① 6月18日 島根県バドミントンジュニア連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ② 9月3日 愛知県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ③ 11月5日 広島県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ④ 11月12日 千葉県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)
- ⑤ 2月25日 茨城県小学生バドミントン連盟講習会 担当 北山吉明(医師)

2) スポーツ歯科研究

「小学生バドミントン選手の咬合機能とパフォーマンス」 担当：坂東陽月(歯科医)

第26回全国小学生バドミントン選手権大会にて測定 平成29年12月22～26日 広島県広島市

3) 小学生スポーツ障害110番

今年度は質問無し



平成30年度の事業計画

5月19日、味の素ナショナルトレーニングセンターにおいて開催された定期総会において平成30年度の事業計画及び予算が承認されました。総会には会長をはじめとする理事・都道府県代議員あわせて47名が出席しました。

■ 主催大会の開催

- 1) 第34回若葉カップ全国小学生バドミントン大会(京都府長岡京市) …… 7月27日～30日
- 2) 第19回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会(熊本県八代市) …… 8月10日～12日
- 3) 第27回全国小学生バドミントン選手権大会(東京都八王子市) …… 12月24日～28日

【31年度大会開催予定】 「第35回若葉カップ」 京都府長岡京市 「第20回ABC大会」 熊本県八代市
「第28回全小大会」 徳島県鳴門市

■ 選手強化部

1) 平成30年度日本小学生バドミントン連盟強化合宿

- ① 第6回U-13選抜強化合宿(日バと共催) …… 7月30日～8月2日/西山公園体育館(京都府長岡京市)
- ② 第17回選抜強化合宿 …… 8月12日～15日/八代市総合体育館(熊本県八代市)
- ③ 海外遠征 …… 未定
- ④ ブロック普及事業(強化合宿等)への補助金交付 …… 普及事業は各ブロックで計画・実施

各ブロック連盟が実施する合宿などの普及・強化事業に対して日本小学生バドミントン連盟が補助金を交付するもので、平成19年度から始まった事業です。補助金は選手個人登録者数に応じて決定しています。平成20年度から賛助金の50%を上乗せし、基準単価は平成30年度に改定しています。

2) 平成30年度日本協会 選手強化本部ジュニア強化部事業(予定)

- ① ジュニアナショナルチーム(U-13)強化合宿 5月17日～23日 NTC
(U-13)強化合宿 6月12日～18日 NTC
(U-13)選考合宿 12月12日～18日 NTC
- ② 海外遠征 未定

■ 指導育成部

1) 指導者講習会《巡回指導》の開催(ヨネックス協賛事業)

平成30年度の開催は15～20カ所を予定

■ 医科学研究部

1) スポーツ医科学普及指導活動

- ① 指導普及部と協力して、全国都道府県の指導者および保護者に対して巡回指導(実技及び講義)を実施する。
- ② 本年度実施回数は6回を予定している。
- ③ 講義内容は医科学全般を対象とするが、希望のあった項目を優先する。内容としてはスポーツ医学、スポーツ障害学、栄養学、バイオメカニクス、トレーニング理論と実際、スポーツ歯科、スポーツと脳、メンタルトレーニング、トレーナーによるコンディショニング、などである。
- ④ 依頼を頂いた都道府県に出向し、指導する。

2) 医科学研究活動

スポーツ歯科研究を今年度も継続して実施する。

発育期にあるジュニアバドミントン選手の口腔内調査を通して、スポーツ活動に必要な歯科的問題を掘り起こし、より高いパフォーマンスにつながる、歯のメンテナンスなどについて研究する。咬合力とスポーツ能力の関連についてさらに研究を進める。

3) 小学生のスポーツ障害110番の開設

日本小学生バドミントン連盟に所属する小学生の指導者で、対処に困っているスポーツ障害やその他、発育や食事等の医科学的疑問について、下記のメールアドレスに質問をいただければ、医科学研究部員が回答を返信します。

メールアドレス: sp7e26q9@rice.ocn.ne.jp 医科学研究部 北山 吉明

■ その他

1) 広報活動

- ① 賛助会会報『小学生バドミントン通信 第18号』の発行
- ② インターネット 公式サイトの管理運営

平成29年度の賛助会員としてご協力をいただいた皆さんです。

皆さんからいただいた賛助金は、日本小学生連盟の運営や各ブロックで実施する普及・強化事業への補助などに使わせていただきます。

(敬称略)

【北海道】田仁バド/苫小牧ジュニア/清水新得ジュニア/大同ジュニア/札幌北ジュニア/北見市少年団/豊住少年団/斜里JBC/網走ジュニア少年団/生田原クラブ/紋別少年団/南空知協会/日比野正人/熊谷敏夫/松原卓也/下野和義/釧路ジュニア/あすなろ/SA・東羽倶楽部/高台少年団/水元地区スポ少/港南飛翔Jr./伊達市スポ少/聚富ジュニア/札幌西ジュニア/札幌BEANS/サンク倶楽部/羽桜BC/旭川陵雲少年団/忠和クラブ/東光小少年団/旭川愛宕東少年団/滝川フルールジュニア/滝川中央ジュニア/遠軽少年団/【秋田県】秋田県小学生連盟(3口)【山形県】山形県小学生連盟(10口)/遠藤宏一【埼玉県】シャトルーズスポ少/能登則夫(1万円)/イーストフレンドスポ少/出羽ジュニア/上尾ジュニア/蓮田サウスシャトルーズ/志木ジュニア/ラケットハウスグリップ/チャレンジャー/行田/鶴ヶ島Angels【千葉県】小山義夫(1万円)【東京都】上田敏之【富山県】堀川南ジュニア【石川県】桶谷千鶴子【静岡県】富士山/御殿場ジュニア/島田六合ジュニア/どんぐりジュニア/伊東ワールド(3口)/広幡バドキッズ/藤枝Jr./SBCスクール(1万円)/荒井威雄(3口)【愛知県】はりーあつぷジュニア(9口)/中口直人(5口)/石ヶ瀬スポ少/北山東山ファミリー/ウイスタリアジュニア(2口)/師勝ジュニア(2口)/愛知県小学生連盟/永井与志夫(1万円)/日進ジュニア/TOYOKAWA Jr./吉田恵之(1万円)/岡崎ジュニア/くすの木少年団/にこにこ北城/犬山ドリームズスポ少/田安武男(2口)/名古屋スポ少/長久手ジュニア/羽っ子CLUB/T-Jump Jr./盛田幸子/水野芳彦/山田順一郎(1万円)/たんぼぼ/富士見ジュニア【三重県】高橋克彦/有緝スポ少/登俊生/笹川ジュニアスポ少/森下さと子/誠之スポ少/三重県協会小学生連盟/下倉輝夫/濱口昌大/田中良弘/佐波充友/高茶屋スポ少/梅本洋平/小俣町スポ少/南が丘スポ少/磯部スポ少/北村元/川越町スポ少/明生Jr./厚生クラブ/南島スポ少/ときわジュニア/玉城スクール/二見スポ少/東員スポ少【岐阜県】尾藤宏治(5口)/大垣静里少年団/尾藤英邦(3口)/三浦公雄(3口)/尾藤伸治(3口)/大野ジュニアスポ少/リバーズクラブ/岐南クラブ/大垣北BSS(3口)/池田町少年団/神戸町少年団/大垣東スポ少/羽島市スポ少/大垣中川少年団/高山ジュニア/大垣安井少年団/垂井JSC/Kojima BC(5口)/びとう会/渡邊美知成(3口)/福永正弘(1万円)/高井政己/川島ジュニア/真正ジュニア少年団【京都府】坪内正一(2口)/小泉和子/小國俊之(5口)/大前茂(2口)/石井保祐/田中田鶴子/木下和代【和歌山県】和歌山県小学生連盟(1万円)【山口県】柳井JBC【香川県】香川スクール(1万円)/白浜義次【徳島県】藍住エンジェルスポ少/内町ジュニア/助任ジュニア/小松島ジュニア/林崎ジュニア/北島Bambi/福島ラビット/加茂名ジュニア/八万ジュニアスクール/上坂Jr./穴喰ジュニア/穴吹HAPPINESS【愛媛県】愛媛県小学生連盟(8口)/B&Gスクール/新小JBC【佐賀県】佐賀サンライズ(3口)/鳥栖キラリ/多久スポーツピア(2口)/七山モンキーズ/玄海ジュニア/山内ジュニア/北方ジュニア/ましまジュニア/基山Jr.【沖縄県】キタムラジュニア/恩納シャトル/西原シャトル/ごさまるスマッシュ/彩橋シャトル/泡瀬ジュニア/宮里クラブ/北美ストリーム/銘苅ゆいクラブ/宜野湾ジュニア/南風原クラブ/豊見城シャトル/那覇ジュニア/石川スマッシュ/SATOクラブJr./越來ドリームズ/美東フレンズ/糸満ジュニア/金城芳広(3口)/川満則明/糸満ファンタッチ/南城ジュニア(合計277口)

※平成30年度も引き続き「賛助会員(1口3,000円)」を募集しています。賛助会の申込み及び会費の振込みは下記へお願いします。

【新規の場合「申込書」送付先】〒503-0982 岐阜県大垣市久徳町339 福永正弘 宛

【会費の振込先】 継続・新規とも下記の口座へお願いします。

郵便振替口座 「00870-3-88151 日本小学生バドミントン連盟」

- * 通信欄にクラブ名・代表者名あるいは個人氏名をご記入ください。
- * 赤色の振込用紙にご記入の上、できるだけ郵便局の振込機械をご利用ください。

日本小学生バドミントン連盟 平成30年度役員 (平成30年5月19日現在)

名誉会長：靱井勝人

会長：黒川 茂

副会長：北山吉明 尾藤宏治

理事長：能登則男

副理事長：小國俊之 吉川和孝 中口直人 白浜義次

常任理事：上田敏之 下野和義

佐倉和明(関東) 山下新一(中国)

理事

熊谷敏夫(北海道) 遠藤宏一(東北)

伊藤 薫(北信越) 永井与志夫(東海)

松村宏則(近畿) 藤本 伸(四国)

吉浦健二郎(九州) 三古 剛(若葉)

福永正弘(会計)



日本小学生バドミントン連盟 事務局

〒068-0025 北海道岩見沢市5条西13丁目20番地 下野和義 気付

TEL: 0126-25-0089 FAX: 0126-25-4710

http://www.syoubad.jp E-mail: shimono@syoubad.jp